

(案)

中期目標期間終了時の検討について

1 趣旨

地方独立行政法人法（以下「法」という。）第79条の2第1項規定により、市長は、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の中期目標の期間の終了時まで、法人の業務を継続させる必要性、組織の在り方、その他その組織及び業務の全般にわたる検討を行い、その結果に基づき、所要の措置を講ずるものとされている。

また、検討を行うに当たっては、同条第2項の規定により、評価委員会の意見を聴かなければならないこととされている。

2 検討方針

(1) 実施時期

今年度は、中期目標期間（平成28年度～令和3年度）の終了年度であり、法人に業務を継続させる場合、次期中期目標の策定を行う必要があることから、次期中期目標の策定前に、中期目標間終了時の検討を行う。

(2) 検討方法

法人は平成29年度に、学校教育法第109条第2項に基づき、文部科学省の認証を受けた認証評価機関による大学認証評価を受けている。

また、前年度の評価委員会において、法第78条の2に基づき、中期目標期間の業務実績評価（見込評価）を実施している。

本検討にあたっては、これらの評価結果を踏まえて行うこととする。

3 第1期中期目標期間における評価結果

(1) 認証評価機関による大学認証評価結果

①評価結果

大学基準に「適合」していると認定された。

②主な評価及び課題等（大学認証評価の「適合」認定を平成29年度に取得）

評価	・アクティブラーニングを採り入れた授業運営を行い、地域連携に関する取組みの活動スペースなどを活用して学生と地域をつなげる仕組みの構築を図っていること
課題	・「地域協働型教育」（実践教育）の在り方や定員管理、施設・設備の整備など多くの取組みにおいて、改善・改革の途上にあり、十分に成果が上がっているとはいえないこと ・それぞれの取組みについて、検証体制が明確でないものがあること

(2) 評価委員会における中期目標期間の見込評価結果

①評価結果

第1期中期目標の達成に向けて「概ね順調に進捗している」と評価している。

②主な評価及び課題等

評価	<ul style="list-style-type: none">・学部学科編成の最適化・公立大学に移行して1年で大学認証評価の「適合」の認定を取得・高い確定志願倍率の維持
課題	<ul style="list-style-type: none">・北近畿地域からの志願者のさらなる増加・教職員数不足の解消・科学研究費、行政や企業との共同研究費及び受託研究費の獲得
提言	<ul style="list-style-type: none">・市民や地域社会、産業界など外部からの意見を積極的に取り入れて、法人のさらなる発展、そして福知山公立大学が北近畿地域における「知の拠点」となるよう取り組むこと

4 業務を継続させる必要性について（案）

上記3のとおり、認証評価機関による大学認証評価結果が「大学基準に適合」しており、評価委員会での見込評価結果も「概ね順調に進捗している」となっている。

このことから、引き続き、法人に業務を継続させることが妥当と判断する。

5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について（案）

第2期中期目標の策定にあたり、上記3における課題・改善点等を反映させることをもって、地方独立行政法人法第79条の2に基づく所要の措置を講ずることとする。